

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響にともなう学生支援策等について

本学では、令和3(2021)年度前期授業におきまして、新型コロナウイルス感染対策として、従前からの感染防止対策に加えて、食堂・ラウンジ等へのアクリルパーテーションの設置、教室への除菌シートの設置、3密を回避した教室の新たな座席配置等の対応を行いました。対面による授業開始後に間もなく政府の緊急事態宣言を受け、4月19日から6月20日の間は、web等による遠隔授業を実施いたしました。自宅にパソコン等の環境がない学生についてはChromebook(タブレット)の貸出しを行うなど、教育の質の維持に努めてまいりました。また、7月中旬からは、吹田市と連携して新型コロナウイルスワクチンの職域接種を行い、9月中旬には希望するすべての学生へのワクチン接種を終えることができました。

9月21日からの後期授業は、緊急事態宣言期間中は原則オンライン授業を実施、解除後の10月1日以降は、感染防止に努めつつ対面授業を実施しています。

引き続き、学生の皆さんが安心して学修を継続できるための支援方策を検討してまいります。



## 千里金蘭大学後援会 令和3(2021)年度総会報告

令和3(2021)年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大による政府の緊急事態宣言発出にともない、書面議決とさせていただきます。会員数903名のうち、書面表決者数が478名であったことから、本会規程第19条に基づき、総会は有効に成立いたしました。

総会に先立って行われた役員会において、会長、副会長及び監事が再任され、総会においては、決議事項として、令和2(2020)年度事業報告・決算及び令和3(2021)年度事業計画・予算が承認されるとともに、新入生保護者役員が選出され、すべての議案において、過半数の賛成をもって承認されました。

今年度は、ご承諾いただいたコロナ対策備品購入計画に基づき、実習等における消毒液等の消耗品や学生食堂用アクリルパーテーション等の購入を適宜進めております。

また、後援会では、いただいたご意見をふまえつつ、学生へのよりよい教育環境の提供をすべく事業の充実を図ってまいります。

保護者の皆さまには、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長 | 水谷 秀子  
副会長 | 星加 映子  
監事 | 妹背 慶子  
(敬称略)

千里金蘭大学 後援会事務局  
(千里金蘭大学内事務局)

◇ 本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

## 年間スケジュール(後期)

2021	10月 16日(土)	総合型選抜基礎学力型A日程 総合型選抜チャレンジAOⅢ期	12月 22日(水)	年内最終授業日	2月 1日(火)	専門科目、保育・教職科目 調整期間(2/1-3)
	17日(日)	総合型選抜基礎学力型B日程	2022 28日(火)	冬期一斉休業(12/28-1/5)	16日(水)	Web成績発表
11月	5日(金)	大学祭打上げ花火 (学生・教職員以外立ち入り不可)	1月 6日(木)	授業開始	20日(日)	一般選抜(中期)
	21日(日)	総合型選抜エクステンドAO(11月実施)	14日(金)	臨時休講		大学院入試(後期) ※欠員のある場合のみ実施
12月	18日(土)	総合型選抜基礎学力型C日程 総合型選抜エクステンドAO(12月実施)	15・16日(土・日)	大学入学共通テスト	3月 7日(月)	保護者宛成績発送
		大学院入試(前期)	23日(日)	一般選抜(前期)	8日(火)	一般選抜(後期)
			24日(月)	後期最終授業日	15日(火)	学位授与式
			25日(火)	授業予備期間(1/25-31)	18日(金)	一般選抜(後期S)

### 編集後記

10月1日より、本学では対面授業を再開し、キャンパスにはやっと多くの学生の姿が戻ってきました。学生の皆さんは、入学前に想像していた学生生活とは異なる日常を過ごしていることと思います。終息までにはまだ長い道のりかも知れませんが、私たち自身の感染防止に対する意識や工夫により、安心・安全かつ充実した学生生活にしていきましょう。

私の成長、  
きっとだれかのために。

01 学長メッセージ  
大学院看護学研究科を  
開設します

02 学科メッセージ

03 ゼミ探訪vol.11

04 ゼミ探訪vol.12

05 百花繚蘭祭

06 部局メッセージ

07 新型コロナウイルスに係る  
学生支援策等について

令和3(2021)年度  
後援会総会報告

年間スケジュール



## 学長メッセージ

### 保護者の皆さま 学生の皆さん



2021年10月  
千里金蘭大学 学長  
島崎 靖久

家から外へ出られないストレスの溜る状況に耐えたおかげでしょうか、新型コロナウイルス感染症の発生が全国的に減少し、ほぼ、元通りの学生生活が戻り始めてまいりました。10月から全面的に従来の対面授業が始まり、対面授業の効果を改めて認識していることと思います。しかし、これで新型コロナウイルス感染症が終息したとは考えられてはいませんので、気持ちを緩めずに毎日の生活を送らねばならないと思います。大学としても、この条件の下でも国家試験対策、教職支援対策をより充実させています。

学生、保護者の皆さまに、大学の近況と今後の展開について、お伝えしたいと思います。

初めに、令和3(2021)年3月卒業生の実就職率が全国3位の好成績でした。卒業生100人以上1000人未満の大学を対象とした調査結果で、もちろん、女子大学では全国1位でした。非常に嬉しいことです。

また、すでにご存知のことかもしれませんが、長年の夢でありました大学院設置が認可され、来年4月から大学院看護学研究科(修士課程)を開設することとなりました。看護学のより深い理解と抱える問題の解決を目指しての方法論について学びます。この課程を通じて、より理想的な看護のあり方を求める姿勢とこれに立脚した新しい展開への方法の追及を図ります。学生の皆さんも、看護とは何か? 未来の看護とその教育について、改めて考える機会にはと思います。自分の心の中に、看護の理想を求めてみては如何でしょうか?

さらに、老朽化施設の改修を含む教育環境の整備を行ってまいります。今年度は、5号館3階の食物栄養学科の調理実習室の改修を2月から3月にかけて予定しています。また、学内でのネットワーク環境の整備も順次行うこととしています。老朽化施設の改修工事は、今後も年次ごとに行う予定としています。

加えて、現在の生活科学部食物栄養学科と児童教育学科を栄養学部栄養学科と教育学部教育学科へと発展させるべく学部・学科の改組を行うこととし、現在は具体的内容を構想中であります。是非ともこれを成功させ、令和5(2023)年度から新しい学部・学科へ移行して、それぞれの学部・学科の新しい発展に繋げたいと期待しています。

以上のような、大学の老朽化施設の改修工事、教育環境整備、学部・学科の新規発展に向けては、相当な資金を必要としています。

大学のステップ・アップを上昇気流に乗せていくために、是非ともご援助を賜りたく、あわせて寄付事業を展開してまいりたいと存じますので、何卒ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 大学院看護学研究科を開設します

本学では、令和4(2022)年4月の「千里金蘭大学大学院 看護学研究科」の開設に向けて、文部科学省への設置認可申請を行ってまいりましたが、令和3(2021)年8月27日付けにて、正式に認可を受け、開設する運びとなりましたことをご報告申し上げます。

本研究科では、看護教育・研究のさらなる質的向上を図ることにより、今後、ますます複雑化・多様化する看護実践の場において、質の高い看護ケアの提供や諸課題の解決に対応するための知識や能力を備えた人材の養成を目指します。

### 千里金蘭大学大学院 看護学研究科看護学専攻(修士課程)

取得学位: 修士(看護学)  
入学定員: 6名(男女共学)  
修業年限: 2年

詳細は大学ホームページをご覧ください。  
URL: [https://www.kinran.ac.jp/academics/grad\\_nursing/](https://www.kinran.ac.jp/academics/grad_nursing/)  
お問合せ先  
アドミッションセンター / TEL: 06-6872-0721

## 学科メッセージ

### 食物栄養学科

食物栄養学科長  
長井 薫

### 新たな取組みにチャレンジ!

今年度も前期は新型コロナウイルス感染症の猛威が続き、通常への対応が難しい面もありましたが、後期は何とか通常に戻りつつあります。本学科では、今年こそ国家試験受験者全員合格を目指して4年生と教員が一丸となって頑張っております。本年度から始まりました国際栄養や主に2年生対象の実践ゼミも、このような状況の中でもできることを考え、実践を始めております。国際栄養では海外研修は難しい状況でしたが、国内で外国人が主催する疑似留学体験研修に1年生8名が参加しました。実践ゼミでは、昨年度に引き続きEaTrend LAB.の活動や、ジビエの利用の取り組み、吹田市のパン店「ラパン」様とのコラボによる食品廃棄物を利用したお菓子の開発(写真)などを行っております。学生一人ひとりがさまざまな経験を通して実りある後期を過ごしてくれることを願っています。



### 児童教育学科

児童教育学科長  
島 善信

### 「コロナ」をこえて、キラリと光る学生たちの姿

1年生の金蘭おこクラブでは、久しぶりに出会う幼児たちの成長に驚き、再会を喜びました。2年生でのインターンシップ(保・幼・こども園・小)では、緊急時の臨機応変な対応や子どもたちの元気な姿にたくさん学びました。3年生と4年生の保・幼実習では、なりたい自分のモデルと出会い、将来への希望と学びへ向かう気概ができました。3年生の教育実習(小)では、「実習の3日目にはクラス全員の名前を覚えてくれました。」と、熱意ある指導に応えようとするひたむきな実習生の姿がありました。4年生では、「こども音楽療育士」1期生を目指して、NPO法人や認定こども園で音楽療育活動の貴重な経験をしました。オープンキャンパスでは、学生有志がスタッフとして充実した大学生活での学びをいざいざと語り、見学の高校生と親身で対話をしながら学内を案内しました。

緊急事態宣言下の困難な状況でも、学生たちを温かく受け入れていただく学校園所や施設に頭が下がります。そして前を向いて、学び取ろうと躍動する学生たちのキラリと光る元気な姿を頼もしく思います。



### 看護学科

看護学科長  
藤田 俱子

### さらなる飛躍を目指す後期に向けて

オンライン及び一部対策を取りながら対面の授業を行い、幸いなことにまだ大学ではクラスターが発生していません。ひとえに学生の皆さん、ご家族の感染対策がきちんとなされ、大学の取り組みに協力いただいている賜物と思います。基礎看護学実習Iが冬にある1年生は楽しみでもあり、緊張もあると思います。すでに夏に基礎看護学実習IIが終了した2年生は臨地を知ってさらに学修の必要性を感じたことと思います。3年生はこの後期全体で各領域の臨地実習を行うためこれまで以上に緊張も高いと思います。コロナ禍においても臨地で学べることに感謝しつつ、臨地でしか学べないことをしっかり吸収してください。4年生は看護研究と国家試験対策のために、勉強に取り組んでいることでしょう。健康に留意し、それぞれに実り多き後期となるように願っています。





# ゼミ探訪 vol. 11

食物栄養学科  
食品衛生学研究室



鎌田 洋一 教授

食品衛生学研究室では、食品中のアレルゲンや、アレルギーを緩和するタンパク質の分析を行っています。卵や食パンがアレルギーを起こすことはよく知られています。ですが、正確には、卵や食パン全体が問題になるのではなく、食品中に含まれる「アレルゲン」と呼ばれる特定のタンパク質がアレルギー反応を起こします。食パンを食べることができない小麦アレルギーの子どもさんも、「グルテンというタンパク質がない小麦で作った食パン」は食べることができるのです。「グルテン」がアレルギー反応を起こす物質だからです。

身近な食品である各種のキノコに、アレルゲン物質があるかないか、あるとしたら、どうすれば迅速に同定できるかを研究しています。一方で、キノコには、喘息やアトピー性皮膚炎を治療・予防できる成分が含まれているとも言われています。「エノキダケ」にこのアレルギー抑制タンパク質があるかどうかも研究しています。各種のキノコをすりつぶし、そこからDNAを抽出します。コロナウイルスを検出する方法として有名な「PCR」という手法を用いて、抽出DNA中に、アレルゲンやアレルギー治療タンパク質の遺伝子があるか調べます。「遺伝子工学」という手法を用いて、DNAからアレルゲンやアレルギー抑制タンパク質を合成し、それらの、熱や消化酵素への反応性など調べ、キノコのアレルギーに関しての「危険性」や「有用性」を分析します。



## ◆◆◆ ゼミ生メッセージ ◆◆◆

私たちのゼミでは、①エノキダケに含まれるアレルギー抑制タンパク質の存在確認②エノキダケ以外のキノコについてアレルギー抑制タンパク質の確認及び消化促進酵素剤によるアレルゲンの解析について研究を行っています。ほとんど手探りの状態で実験をしているので、実験が上手くいくこともあれば失敗することも多々あり、何度も同じ操作をしていると「忍耐」が必要だと感じました。

今後も研究に取り組み、卒業研究発表会、卒業論文でより良い内容を発表できればと思います。

4年生 仲井 加子 さん

PCR法や遺伝子組み換えの原理を学んだとき、どれだけ考えればこれを思いつけるんだ！と感動しました。世界中の研究者が試行錯誤して辿り着いた成果を受け継ぎ、自分がまだ誰も知らない新しい発見のために研究をしていると思うと、ロマンを感じます。

ゼミでは、疑問に思ったことを調べられたり、先生に教えていただけたります。好奇心が満たされる恵まれた環境です。実験は失敗の連続ですが、良い成果を出したいと思います。

4年生 森 有彩 さん

# ゼミ探訪 vol. 12

児童教育学科  
児童学ゼミ(福祉ゼミ)



1



2

宮里 慶子 准教授

「子どもの福祉」といっても、ピンとこない方は一般的にまだ多く、入学前には知らなかった、イメージがないという学生も多くいます。近年は児童虐待が注目を集めていますが、子育てが難しい家庭や貧困、障がい児の生活介助、家庭崩壊と非行といった子どもの養育、生活問題は、日本では戦後も長年、見えにくい、例外的な家族や子どもの問題として差別的に扱われてきました。

ゼミでは、保育や教育現場の背景にある家庭や地域の問題、虐待、里親や社会的養護の施設等に関する文献を読んだり、生活困難な家庭層が多い地域や児童センター等でのフィールドワーク、見学を行ったりしています。重いテーマでどう考えたらよいか難しいと考えこむ姿や、視野が広がった、いい意味でショックを受けた、という学生の声があります。コロナ禍によって本来の学習目標や活動が制限されていますが、令和3(2021)年度前期は、障がい者支援施設でアートの視点から新しい活動をしているゲストを招き、講義を受けワークショップに参加しました(写真1、2)。

また、ゼミ課題として、平成26(2014)年から毎年、オレンジリボン運動(児童虐待防止のための啓発運動)の企画、実践活動を行っています(過去の実績は、厚生労働省HP参照<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000198939.html> 写真3、4、5は令和1(2019)年度と令和2(2020)年度)。今年度も、現在、準備を進めています。他の学生、教職員の皆さまにもご興味・ご関心をもっていただけますように。乞うご期待!



3



4



5

## ◆◆◆ ゼミ生メッセージ ◆◆◆

前期では、文献講読で子育てに関する問題や現状を学びました。自分の知らなかった日本の現状が多く書かれており、授業を受けるたびに衝撃を受けました。子どもに関わる問題が解決しなければ、その子どもは困り感を抱えたまま大人になり、次世代にも問題が残ります。だからこそ、後期のオレンジリボン運動の実践活動を通して、子どもの福祉の認識が広がっていくようなことをやっていきたいです。

2年生 紅 香奈子 さん

前期では、子育てに関する文献を読み、愛着形成・発達障がい等たくさん問題があることを学びました。小学校教員を目指す私はもっと知らなければならぬと感じています。

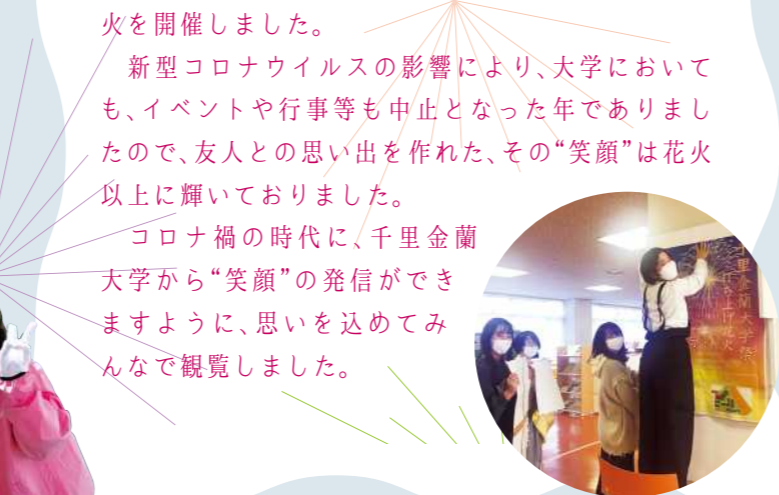
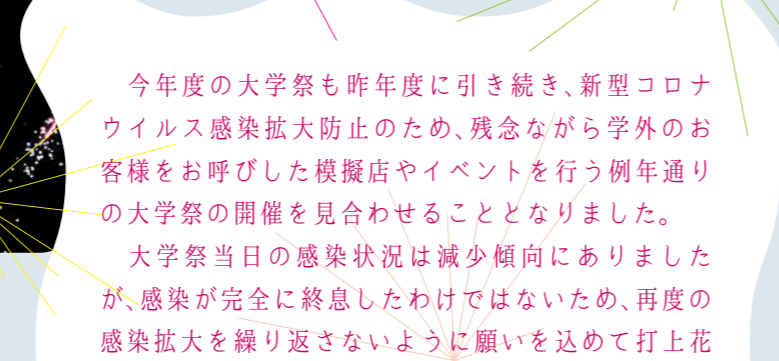
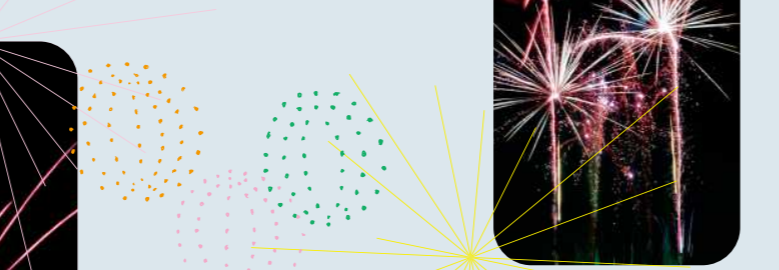
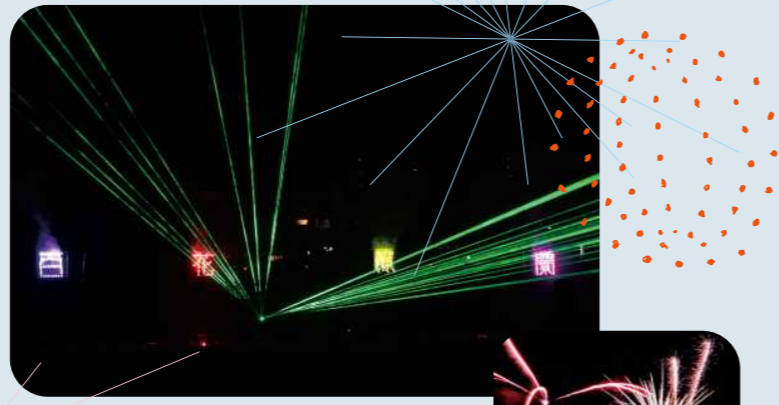
後期からは、オレンジリボン運動の企画について、自分たちができることは何か話し合っています。学内の皆さまにも児童虐待についてより知っていただくために、福祉ゼミ一同協力してつくりあげたいと思います。

2年生 入江 香須美 さん



# 百花繚蘭祭

## ～笑顔～



今年度の大学祭も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら学外のお客様をお呼びした模擬店やイベントを行う例年通りの大学祭の開催を見合わせる事となりました。

大学祭当日の感染状況は減少傾向にありましたが、感染が完全に終息したわけではないため、再度の感染拡大を繰り返さないように願いを込めて打上花火を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、大学においても、イベントや行事等も中止となった年でありましたので、友人との思い出を作れた、その「笑顔」は花火以上に輝いておりました。

コロナ禍の時代に、千里金蘭大学から「笑顔」の発信ができますように、思いを込めてみんなで観覧しました。

## 部局メッセージ

### 教養教育センター

センター長 岩谷 智

#### 無限の錯覚

小説家の万城目 学さんは「若者には無限の錯覚をする特権がある」とおっしゃっています。

教養を身につけるということは「無限の錯覚」をするための準備なのかもしれません。なぜなら自分の知っている道だけを歩いているのは世界の広がりを感じることができないからです。

知らない場所に立ち入り、この先になにがあるのか想像することは、それがたとえ錯覚であったとしても、心の豊かさに結びつくはずで、読書でも音楽でも美術でも、そして旅でも、知らない場所に入っていきます。ぜひ学生時代にさまざまなチャレンジをしてください。

### 付属図書館

館長 登喜 和江

#### 学長推薦図書、図書館内で展示中

前号(第21号)の島崎学長のメッセージでも触れていましたが、図書館内に学長推薦図書コーナーを設置しました。設置場所は貸出・返却カウンターの右隣です。先生の専門の医学関連はもちろん、生物学、哲学、経済学、小説、エッセイ等、読書家の学長ならではの多彩なジャンルの本がズラリと並んでいます。いくつかの本には、おすすめポイントや感想等、直接、学長からいただいたコメントも掲示しています。コメントを読むと、読んでみたくなること間違いなし。読後は世界が広がり、教養を高めるために役立つはずで、展示中の本はすべて借りることができます。ぜひご一読ください。

### 研究推進・社会連携センター

センター長 鎌田 洋一

#### 教育・研究シーズ集について

研究の目的や成果、本学独特の研究内容や特徴的な教育内容等を一目で理解していただくために、「教育・研究シーズ集」の作成に取り組んでいます。本学の研究及び教育に関わる知的資産を収集し、全学で共有し、本学教職員の一体化感を向上させ、有機化・連結化することで、教育・研究活動の活性化に用います。さらに、教育・研究シーズ集は「持続可能な開発目標 (SDGs)」と結び付け、本学の知的資産として学外に発信し、各種企業や行政機関との連携を推進することを目的としており、その一環として9月1日に教職員・学生を対象としたSDGs研修会を開催いたしました。

### 情報処理教育センター

センター長 小野 淳

#### コロナ禍のPC貸出しについて

コロナ禍のため、ご自宅にコンピューターがない方を対象に、前期に引き続きChromebookを情報処理教育センターにて貸し出ししております。普段よく利用されているWindowsのコンピューターとは違って、Chromebookはなじみがないかもしれませんが、大学で利用しているメールであるGmailや課題提出のClassroomなどのGoogleのサービスが利用しやすいコンピューターとなります。

Chromebookを一度ご利用いただければ、比較的違いも気にならないと思いますので、ぜひご活用ください。

### 教職支援センター

#### 「ギガスクール構想」への対応

文部科学省のギガスクール構想により、小学校現場では、令和時代のスタンダードとして1人1台端末の実現が急速に進んでいます。教職支援センターでは、情報処理教育センターと連携し、教職を目指す学生が、電子黒板やタブレット端末を活用した指導方法を学び、体験できるよう環境づくりに努めています。また、本年も「小学校教員や保育職公務員の採用試験に合格しました」という嬉しい知らせが続きます。

今後もSociety 5.0の時代を生きる力の育成など、教育の新たな動きを見据え、教職を目指す学生たちを支援してまいります。

### 教学センター

#### 保護者懇談会等の中止について

9月26日(日)に実施予定であった、今年度の保護者懇談会・保護者対象就職セミナーは緊急事態宣言延長にともない、皆さまの安全を考慮し、中止とさせていただきます。

参加のご予定をいただいていた保護者の皆さまにはご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。なお、当日に個人面談をご希望されていた方には、別日程にて個人面談での対応とさせていただきます。

教学センターでは、これからも他の部署や教員をはじめ、保護者の皆さまとも情報を密に連携し、学生の学びや生活のサポートに注力していくよう努めてまいります。

### キャリアセンター

#### 今年度の採用動向

コロナ禍により、就職活動が停滞すると予測されていましたが、企業の採用意欲は堅調を維持していました。外食や観光など低迷する業界もありますが、多くの企業ではコロナ禍でも積極的な企業活動により、好調な業績となりました。その結果、新卒採用の維持・拡大につながりました。また、リーマンショックの経験から、業績が多少悪化しても新卒採用を継続するという姿勢の企業が増えていることも影響していると考えられます。

キャリアセンターでは、景気動向に左右されずに就職活動ができるよう学生の皆さんを支援してまいります。